

協働テーマ

職員の緊張や不安をバイタル情報等から把握・通知できるツールを導入して、職員の支援力・対応力の向上を図りたい！

■ 現場課題

**場所** 障害者支援施設 希望の郷 東村山

**現場課題** 職員の緊張や不安をバイタル情報等から把握・通知できるツールを導入して、職員の支援力・対応力の向上を図りたい！

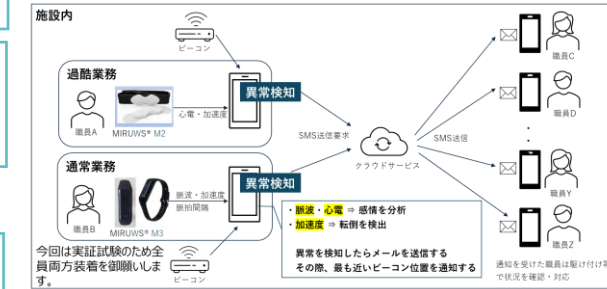
■ プロジェクト概要

**目的 (解決策の方向性)** 感情・バイタル・行動を可視化する仮想センサMIRUWS® MXシステムを利用し、施設利用者支援時等に職員の緊張・不安のバイタルや転倒を検知し、自動で離れた場所にいる職員に連絡が行くことで、素早い問題解決を支援する。

**取り組み内容** 職員全員が心電ベルトとリストバンドを就業時間中装着するとともに専用スマートフォンを所持し、以下、2点を実施する。  
 ①緊急通知:職員 1 人での利用者対応が困難な状況に直面した際、職員全員に発生位置とアラームを発信。受信者はメッセージで場所を特定し駆けつける。  
 ②業務振り回り: 心電センサを用いた感情アプリで、利用者支援時等における職員の緊張感や焦りを可視化可能とする。

**成果** 3月19日-21日 実証試験実施  
 ・職員のバイタルを検知した1件について、データ解析した結果、緊張状態の持続を確認した。  
 ・転倒の検知については、ダンボール箱に躓くなどの場合を検知したが、誤検知も見られ、今後の改善が必要である。  
 ・データに基づく職員の感情振り回りについては、本人の認識に合っている人、合っていないと感じる人、両方であった。

全体像 ①緊急通知



全体像 ②業務振り回り

